



ラオス山岳少数民族の新米教員誕生！！

～ AEFA第1期奨学生 ふるさとの子供達の教育のために ～

2013年11月。教員養成短大を無事修了し、新年度開始の9月より、ふるさとラオス山岳地帯タイ郡の学校に先生として戻った“AEFA第一期奨学生”を訪ねました。

ケオペット君はサボン小学校に着任、教員は3人になりました。教室を竹を編んだ壁で区切り、複式にすることで、幼稚園から小学校5年生までの全学年75名が学べるようになりました。

クム君(トラウトルンテン村)は、村のコミュニティラーニングセンター(集会所)で教えています。黒板が1枚あるのみ、机・いす・教科書も不十分な学び舎ですが、誇りをもって教えています。

ダム君は、ふるさとジョーカン村からさらに川を越えたジョーハイ分校で教えています。きびきびと、威厳と自信をもって子供に接する姿が印象的でした。校舎は木の壁がはがれ、修理が必要です。ラオスにおける建設第1校目、パチュドン校の分校であるこれら3校は、「分校活性化プロジェクト」として、株式会社近江兄弟社様のご支援で、修理・改善していきます。



ケオペット君



竹で編んだ壁で区切って勉強中



クム君



ダム君

■「頑張った賞」を10人の先生に！教員研修会

ラオスでは「教員研修会」を毎年行い、AEFA建設校の先生方の情報交換、学校運営の仕方・複式学級での教え方・手作り教材の作り方などを、県教育局の講師が指導しています。11月8日、研修会最終日にAEFA理事長も参加。特に学校活動に熱心な10人の先生方に表彰状と副賞が贈られました。物が不足する中でもアイデアを出し、学校運営を前向きに行っている先生ばかりです。



表彰状を手に記念撮影

■AEFAちくぬいプロジェクト



タオイ族の手織り布を使って、日本のボランティアさんたちが作品を作り、その売上が奨学金に寄付されます。タオイ族の手織りは「地機(じばた、地面に座り体重の重みで縦糸を張る)」。

木陰でおしゃべりを楽しみながら、丁寧に織ります。2013-2014年度は、タオイ郡から7名の奨学生が入学。現在、総勢20名が元気に学んでいます。



ひとこと

教育の原点は「人間力形成」

AEFAは今年、創立10周年を迎える。「石の上にも3年。10年経てば本物になる」と言われるが、果して本物になれるか。素晴らしい天命とご縁に恵まれた10年。今年こそ真の意味でAEFA第二の創業の年だ。AEFAとつながって下さった皆様一人ひとりに感謝しつつ、次なる10年も皆様と共に歩ませて頂きたい。皆様とのつながりの結果である活動の一つ一つが、感動と共感を生むように、それを皆様にお届け出来るように、頑張る所存である。

昨年1月、初外遊の安倍晋三首相夫妻主催の、ベトナムの子供達との交歓会をお手伝いした。心は繋がっている。子供達の純粋な心こそ世界をつなぎ、未来をつなぐのだ。子供達は国の宝、教育は国の礎を築くものだと実感した。教育の原点は人間力形成＝思いやりの心の形成にあると考える。「子供たちの育ちと見守り」を軸足にして、「人のために生きる意味」を伝えるNPOとして今年も邁進したい。(理事長 谷川 洋)



2013年は日越友好年 (日本-ベトナム外交関係樹立40周年)



2013年9月23日(月)ベトナムのドンナイ省ビエンホア市グエン・チー・タイン小学校の開校式が開催されました。ベトナム南部らしい澄み渡る青空の下、新校舎の前にはたくさんの子供達の歓声が響きわたり、みんなで完成をお祝いしました。

ビエンホア市はホーチミン市からも近く、日本企業の進出が相次ぎ、人口が増加中。当学校では、2,500名を超える生徒が学んでいます。3部制で1日たった2時間半しか授業を受けることが出来なかった以前に比べ、2部制で約5時間学べるようになり、学習環境が改善されました。

賛同者・ご支援者の皆様からのお言葉

◆安倍昭恵夫人(賛同者のお一人)◆

「これからぜひ、皆さんの目標に向かって多くのことを学ぶとともに、日本とベトナムの架け橋となっていきたいと思えます。この新しい校舎で学び、遊んだ経験が、皆さんの大きな夢の実現の糧になることを心から願っております。」



◆在ホーチミン日本国総領事館 総領事 日田春光 様◆

今年の日越外交関係樹立40周年の記念すべき年であり、今日の開校式が、日越友好年に又ひとつ花を添えることとなりました。子供達の学習環境が改善されたことを大変嬉しく思います。



◆アースバンク倶楽部 代表 早川悟史 様◆

この校舎で、沢山の生徒達が勉強をし、世界の平和のために貢献するような人間が育てていただくことを願っています。将来ベトナム、日本、そして世界のどこかで一緒に仕事ができる事を楽しみにしています。



◆児童代表感謝の言葉 リー・ソー・ユーさん(5年生)◆

私たちは、これから一生懸命勉強して、よりできる力をつけて、よい大人となって、祖国ベトナムのために貢献できるような人間になりたいと思えます。



★日越友好年特別プロジェクト★

2013年は“日越友好年(日本-ベトナム外交関係樹立40周年)”であり、政府間でも民間レベルでも様々な交流事業が行われています。この記念すべき年に長年交流を続けている日本とベトナムのフレンドシップ校同士の子供が、同じテーマで1つの作品を作り上げ、交流の記念とするプロジェクトを行っています。まずはベトナム側から、大きな模造紙の半分に「私の故郷」、「私の学校」などをテーマに作品が送られてきました。それを日本の交流校にお渡しし、現在、模造紙の半分を完成すべく、一生懸命に仕上げているところ。どんな作品になるかワクワク、楽しみにしています！

ベトナムより届いた作品



日本で仕上げ中



ソンヴァン小学校ゾックキエン分校 & プラオ小学校アジン分校 合同開校式

2013年「エルセラーン1%クラブ」様のご支援でベトナム中部クアンナム省の山奥に2つの小学校が建ちました。ソンヴァン小学校ゾックキエン分校とプラオ小学校アジン分校。少数民族カトー族の子供達が通う学校です。9月25日(水)には合同開校式を開催。あいにくの曇り空でしたが、エルセラーン1%クラブの皆様を乗せたバスが学校前の道路に到着すると、児童、先生、そして、村人たちが、日本とベトナムの旗を持って笑顔で出迎えてくれました。中心となってご支援下さった西川さん、城戸さんから子供達へお祝いのメッセージとプレートを贈呈。お互いに歌や踊りを披露しようと、最初は緊張していた子供達も徐々に打ち解け、笑顔があふれる開校式となりました。



安全で快適な学校へ毎日休まず元気に通い、しっかり学んで下さい。そして世の中で役に立つ人になってください。きっとあなた達は夢や希望を持てるようになるでしょう。
(副社長 糸谷紗恵子様)



こんなに素晴らしい校舎の前でみなさんにお礼の言葉をお伝えできてうれしいです。とても気持ち良く勉強ができる教室をプレゼントしてくれてありがとうございます。私は一生懸命勉強して、立派なお医者さんになる夢をかなえていきたいです。(児童代表5年生ザンさん)

<写真>

上: 全員集合!
中: 笑顔の子供達
下: 建設途中のプラオ小学校にて



子供たちの笑顔に会いに！ ～銀河ネットワークグループ様 タンホアA小学校再訪～



1日目: 学校の校庭を遊び場として彩るボランティア活動。コンクリートのグラウンドに星型や丸型等の溝を掘り、カラフルな小石を埋め込みます。子供達の学校生活を彩るため、皆さん気合が入ります！

2日目: 待ちに待った交流会！メインイベントは、日本の夏祭りを味わって欲しいと「ヨーヨー釣り」♪銀河法被を着てヨーヨーを懸命に膨らませると、子供達は初めて見るカラフルなヨーヨーに歓声を上げています。交流会は大成功！子供達のはちきれそうな笑顔が、何よりのお土産となりました。

ベトナム・チャビン省 タンホアA小学校は、2008年に銀河ネットワークグループ様のご支援により、建設されました。その後も継続して奨学金のご支援など、子どもたちの成長を常に見守ってきてくださいました。2013年9月24日～25日には、5名の社員の方が会社の代表として訪れ、ボランティア活動と、子供達との交流会を開催しました。



◆銀河ネットワークグループ様の感想◆

支援した学校が、今でもきれいに使われていて、楽しそうな子供達に会えて、本当に嬉しかったです。来年は、トイレ掃除など、衛生教育を伝えに再訪したいです！



中学校建設プロジェクト～明るい未来を作ろう in ラオス ～ イートアンド株式会社様 ～

ラオス・ビエンカム中学校開校式！
2013年11月3日

ビエンカム中学校をご支援頂いている、イートアンド株式会社様。若手中心の「keep on Challenging Project」から和田さん・牧さんのお2人を迎え、待ちに待った開校式が開催されました。ビエンカムの村人6人が土地を提供、地域で初となる中学校が開校。中心基幹校として、小&中学校舎・井戸・トイレのほか、教員寮及び教員トイレが整備されました。地域統括村長も、自分の娘を教員として送りこみ、力を入れて活性化をはかっています。村人は、今後も幼稚園の開設や図書館など、地域の教育をより発展させたいと願っています。

式典では同社文野社長からの祝辞を和田さんが代読。
「当校に通う皆さんにおかれましては、しっかりと勉強し、将来、世の中に貢献できる人材に成長してもらいたいと願っております。」

開校式の後は、お待ちかねの交流会。イートアンドの2人が、得意の炒飯作りの腕をふるいます。しかし、慣れない炭での調理や、道具不足、なぜか準備されていたかぼちゃの具材など、「火が足りんよ～」 「なんでかぼちゃ？」と戸惑いながらも、汗だくで鍋を振るう2人に、中学生も先生方も、熱い声援を送ります！美味しい炒飯を食べて欲しいと思いつつも、慣れない環境での調理に大奮闘。最後に**老舗の味を再現した「大阪王将炒飯の素」を加え、完成！！**次回訪問の際には、村人

たちは「1度も見たことがない」という餃子を、一緒に味わえる日を夢見て・・・材料となるにんにくなど学校菜園活動も、12月の農作業シーズン開始とともに、本格的に再開されます。



2人の美味しい炒飯でみんな満腹でした！



明るい新校舎が完成！

日本の旗を手に完成をお祝い！



サラワン副郡長へ、新校舎の贈呈式

イートアンド株式会社様には中学校校舎だけでなく、現地からの要望の高かった「教員トイレ」もご支援頂きました。ビエンカム校は僻村にあるため、教員は電気もない住みこみで熱意をもって生徒指導にあたっています。食料(かえる等)も森へ調達！先生も自給自足で頑張っています！

イートの日(11/10)

一部直営店で、ラオスの名産品がガラポンで当たるなど、ご来店いただいたお客様への感謝イベントが開催されました。本プロジェクトに多大なるご協力を



頂きました、イートアンド株式会社人事総務部永井さん、どうも有難うございました。同社は今後、笑顔を届けようプロジェクトとして、児童養護施設へキッチンカーで訪問し焼餃子を振舞います。

ラオス・ボンナム校(タイ郡) HDP様のご支援で、運動用具が届きました

ホシノドリームズプロジェクト(HDP)様から、ボンナム校にテニスボール、バレーボール、シューズなど運動用具のご支援をいただきました。学校訪問日はあいにくの雨天で、思いつき子供達と遊ぶことはできませんでしたが、「テニスボール送り」で交流。「早く早く～！」「がんばれ女の子！」と周囲から声援が飛び、雨空を吹き飛ばすほど元気な歓声のはじけました。

スポーツの楽しさ、達成感、感動、そしてスポーツを通じて夢と未来を子供達に……。今後もアジアの子供のために、スポーツの環境作りを一緒に頂く予定です。

普段はこんなボールを皆で大事につかっているんだよ！

列になってテニスボール送り





ラオスの子供達に、思いを届ける交流会 ～ 株式会社近江兄弟社様の見守り ～

2008年11月から、のべ14名の“ラオスメンバー”の皆様が渡航された同社。5年目の節目となる今年、ご支援校カニョンケクナイ小学校で交流会を開催致しました。メンバーの皆様が何ヶ月もかけて準備されたアクティビティ(ヨーヨー釣り、凧揚げ、飛行機、ドッジボール)。ルールがよくわからなかったり、最初はかちこちに緊張していた子供達ですが、初めて見る・経験する活動に、身体中で取り組んでいました。綱引き大会は近江チームVSカニョンケクナイチームに分かれて3回戦！開校式&交流会の際に同社より頂いたハチマキをきりりと締め、思い切り引きます！



最後に、「小さい頃に貰って、とてもうれしかった」との思い出から、メンタムキッドのラベルとリボンで綺麗にラッピングされたハンカチと、お菓子の贈り物。子供達にとって、キラキラ輝くかけがえのない思い出の1日となりました。



村人達も、皆様の訪問を心待ちに、村の入り口の川に手作りの橋を架けて準備。他にも、先生の家とあずまやも手作りし、12月からは旧校舎の補修工事も

も始まりました。いよいよ1年生から5年生まで全学年が、村の学校で学ぶことができるようになります。

女子寮をご支援頂いているタオイ郡パチュドン校でも子供達と交流。「ボーハイキン！（飲まないでね）」と優しく声をかけながら、一緒にシャボン玉を飛ばしました。今年度よりご支援頂いている「分校活性化プロジェクト」対象校へは、台風で道が崩れ不通となっており、急きょ川を渡渉してゆくことに。雨季の終りで流れも速く水量もあり、学校から迎えに来た子供達が手をつないで渡してくれました。



村人手作りの橋



助け合って前へ前へ

●薬袋プロジェクト

タオイ郡の5つの小学校に、メンタムや絆創膏、虫さされなど外用薬を詰めた救急セットを配置しました。「森で怪我をしたら、樹液や草の汁で血止めをするしかない」という村で「このような薬袋が学校にあることは、保護者にとって大きな安心です。」今後も同社のご協力も得て、山岳地帯の学校に設置していきます。



◆◆ ラオス訪問を終えて ～株式会社近江兄弟社様の皆様より～◆◆

◆多くの学校を訪問し、やることに尽きることはない・・・と実感。人は人のために尽くす存在であること、そのために生まれてきたことをあらためて感じました。
(近江オドエアサービス株式会社 亀山謙四郎社長)

◆真の学び舎となるように見守るような継続支援を。この活動は何よりも続けることが企業として重要だと思ふ。
(株式会社近江兄弟社 市田茂広さん)

◆「豊かさとは？」「幸せな生活とは？」これが全日程を通じて、帰国しても頭の中を駆け巡った点でした。ただただ与える事だけではなく、共に感じ・考え、共に成長する事でプロジェクトそのものやお互いの国が豊かになるのだと思ふ。
(同社 吉良孝典さん)

◆子ども達が安心安全な生活が送れるように、1人1人がそれぞれの将来の夢を持てるように、学べる環境を整えたり、衛生面の整備、ゴミ問題への配慮や教育など、これからも支援を続けていきたい。
(同社 河合直子さん)

◆純真無垢な子供たちの未来を支えるには、やはり教育だけでなく、自立させる心も同時に教えて行く必要があると感じました。今後ラオスが発展していくとゴミ問題も重要。発展と同時に「もったいない」文化を植え付ける必要があるのではないかと。
(同社 矢野昌洋さん)

◆学校を建てることだけで終わらせるのではなく、村人だけで維持できるまで環境を整えていくことが我々の支援のゴールだと思います。子ども達の笑顔を守っていきたい。
(同社 松吉美保さん)





東京都における出前授業～東京都教育委員会ご紹介～

～笑顔って、いっしょだね～



これまではAEFA交流校での出前授業が主でしたが、今年度は新たな取り組みに挑戦。東京都教育委員会のご紹介を受けて、東京都内の三十数校の小中学校で「アジアを知る出前授業」を行っています。

アジアの子供は、水汲み、薪とり、食料採集、田畑の仕事など、毎日生きるために大忙しです。でも、たとえ教科書がなくても、壁がない学校でも、学校で勉強できることが何よりの楽しみ。

日本から見れば厳しい生活の中でも、明るい笑顔でたくましく生きているアジアの子供達。

その姿を知ることにより、当たり前と思っている日本での日常生活や自分の置かれている環境を見直し、学校に行ける幸せ、将来の夢・目標について考えるお手伝いになればと思っています。

★AEFAの出前授業についてのお問い合わせは、どうぞお気軽にご相談ください★



放課後は魚獲り
「今日の夕食を自分で探さなくちゃ！」



森へ薪とり。重たい枝を背負って何キロも歩く女の子



川で洗濯
川は大事な生活用水



1冊の教科書を2人で分け合ってお勉強



◆道徳授業地区公開講座にて発表◆

11月9日(土)東京都拜島中学校の道徳地区公開講座にて「学校に行ける幸せ～当たり前の日常生活を見直す～」というテーマでアジアの子供達の暮らしについてお話をしました。保護者だけでなく地域の方々も参観。600名弱の大人数の中、生徒たちは積極的に授業に参加してくれました。

～代表生徒からの言葉～

「最も印象に残ったのは、アジアの子供は、毎日働いていて忙しくても、前向きに生きているということです。僕たちが当たり前と思っている日常生活は、とても幸せだと思いました。これからどのように生きていきたいか考えさせられました。」

子供達のモチベーションをあげる工夫♪ ～青柳小学校の取り組み～

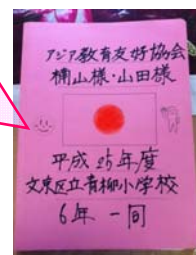
東京都青柳小学校は2010年に東京都教育委員会からのご紹介でご縁が生まれ、ベトナムのマックディンティ小学校との交流を続けています。先生方の地道な努力と様々な工夫により、毎年6年生が楽しくベトナムについて学んでいます。今年度は1学期に子供達がグループごとに違うテーマ(料理、文化、学校、行事等)でベトナムの国について調べ、模造紙にまとめあげ、発表しました。



その下準備のお陰で、2学期にAEFAで出前授業をした時には子供達はミニベトナム博士！授業に耳を傾ける真剣さには驚かされました。社会人顔負けなほど、話を聞きながらしっかりメモを取り、こちらからの問いかけにも積極的に答えてくれました。

後日6年生全員からAEFAへお礼の手紙が送られてきて、スタッフは大感激！！ありがとうございました！これからも末永く素敵な交流が続くようAEFAもサポートしていきます！

「一番心に残ったのは、ベトナムの子供の1日がとても大変そうで、生活も苦しいのに、何事にも一生懸命な姿です。力を尽くしてやった分だけ幸せが返ってきているのではないかと思います。日本の方が物質的に豊かなのに、ベトナムの子供達の方が幸せそうにみえました。まずは、自分に正直に生きるようにしたいと思います。私が一人ですることには少ないです。しかし、仲間と手を取り合って、何事にも前向きに、一生懸命にすれば明るい未来が見えてきます。私たちがこれからの地球を担っていきたいです。」(6年生Sさんからのお手紙)



あけましておめでとうございます！

チュッ ムン ナム モイ！

Chúc mừng năm mới

ベトナムではどんなお正月を過ごしているのでしょうか？ AEFAの活動をお手伝いしてくれている留学生のキャンさん(左)とフェンさん(右)にお聞きしました！

Q:ベトナムのお正月はいつですか？

A:ベトナムでは旧暦でお正月をお祝いをするので、毎年お正月の日付が変わります。旧正月のことを「テト」といいます。2014年は1月31日が元旦なので、その前後一週間くらいがお休みになります。

Q:ベトナムでは旧正月はどのように過ごしますか？

ベトナムではお正月には深い意味があります。遠いところからでも家族全員が帰って来て、一緒に過ごします。皆で家をきれいにしたり、伝統的な料理と一緒に準備したりすることは私にとって大切な時間です。

「テト」の本番は旧暦1月の1日—3日までです。私の故郷の中部クアンナム省では1日目に親戚、2日目に近所、3日目には学校の先生と友達のお宅にお祝いを言いに行くことが習慣となっています。

Q:お正月になると、どんな飾りをしますか？

北部では「ホアダオ」、中部～南部では「ホアマイ」という花を飾ります(ホア=花)。これらはお正月に咲いている花で、日本で言うと桃と梅の花みたいです。



ホアダオ



ホアマイ



ホアマイの木は日本名「キバナオクナ」、英語では「ミッキーマウスツリー」とも呼ばれているとか。花の後になる緑の実が徐々に黒くなるので、ミッキーの大きな耳のようになるそうです！



Q:お正月に食べる特別な食べ物がありますか？

これは地方によって若干違いますが、私のところでは「バインチュン」、「バインテット」、「バインイン」などを食べています。米から作られるもので、「空と地球」を代表するものという説があるんです。貧しかった頃には非常においしく、また常に食べられるものではないので、お正月にいっぱい食べたという記憶があります。

(右)バインチュン
豚肉と緑豆のちまき。
主に北部で食べられる。
ゾンの葉で包み10
時間ほどゆでたもの



(左)バインテット
豚肉と緑豆のちまき。
主に南部で食べられる。
形は円柱でバナナの葉
でくるみます。

(右)バインイン
ベトナムの落雁です。
もち米を炒ってから粉にし、
水かヤシジュース、砂糖を
混ぜ込んで型で抜きます。



平成の浅羽佐喜太郎をめざして…

「ベトナムへ学校を贈ろう！～袋井市ワンコイン・スクールプロジェクト～」

日越外交関係樹立40周年にあたる本年、静岡県袋井市では「袋井市ワンコイン・スクールプロジェクト」が始まりました。100年以上前に日本に学びに来ていたファン・ボイ・チャウをはじめとするベトナム青年たちの夢を応援し、物心ともに支えていた郷土の偉人「浅羽佐喜太郎」。彼の精神を尊敬し、「学ぶことが困難な環境にあるベトナムの子供達に、学校を贈ろう！平成の浅羽佐喜太郎になろう！」という夢に向かって袋井市および市内の小中学校が一体となって募金活動を始めます！100年以上前に両国の先人達が築き上げた友情の架け橋が、先人達の思いが、現代の子供達の中に受け継がれています。袋井市の活動の様子などは引き続き、次号でお知らせいたします！

＜浅羽佐喜太郎とファン・ボイ・チャウの関係は会報16号をご参照ください＞

袋井市ワンコイン・スクールプロジェクト

ベトナムへ学校を贈ろう！

専念にご協力をお願いします！

～平成の浅羽佐喜太郎をめざして～

問い合わせ先(事務局)

袋井市ワンコイン・スクールプロジェクト実行委員会事務局
〒413-0866 静岡県袋井市一丁目 袋井市教育委員会学校教育部内 (市民会館2階)
TEL: 05342-244327 FAX: 05342-244328
E-Mail: gaku@city.sakai.shizuoka.jp
※土曜・祭日を除く、午前9時30分～午後5時15分

◆ AEFA往来 2013.8～2013.12 ◆

- | | |
|--|---|
| 8月 ● AEFAご支援者様の集い(20日) | ● ラオス教員研修会実施(6-8日) |
| 9月 ● 東京都教育委員会ご紹介による出前授業開始(9月～3月まで都内32校で実施予定) | ● 毎日新聞「いわき生徒会長サミットによるワンコインスクールプロジェクト」記事掲載(8日) |
| ● ベトナム・グエンチーティン小学校開校式(23日) | ● 拝島中学校道徳地区公開講座にて講演(9日) |
| ● ベトナム・ソンヴァン小学校、プラオ小学校合同開校式(25日) | 12月 ● ベトナム・ヴィンダン小学校交流会(6日) |
| 10月 ● ベトナム・PACCOMとの打ち合わせ(15日) | ● タイ・ファイコン中学校竣工確認(11日) |
| 11月 ● ラオス・ビエンカム中学校開校式(3日) | ● 倉敷出前授業(11-13日) |
| ● ラオス・カニョンケクナイ小学校交流会(4日) | ● AEFA福井フォーラム(24日) |
| | ● AEFA東京フォーラム(26日) |



◆AEFA初！中学生の職場体験受入◆



9月、豊島区立中学2年生の久崎君が3日間職場体験！ベトナム人留学生と話したり、交流作品の英訳や、資料作成に大活躍。「少数民族の人たちは多くの人の支援があって発展していると感じました。社会人として就職したときも、支え合いを大切にしたいです。」

将来、様々な人と関わりながら、世界へと羽ばたいてくれることを楽しみにしています！

◆ベトナムから届いたプレゼント◆

2012年10月にベトナム・ゴックトゥ小学校をご支援、開校式で現地を訪問された剣持様ご夫妻の元に、子供達からお礼の絵やカゴなどの贈り物が届きました。ご支援の新校舎も丁寧に描かれており、ご夫妻との心の交流が続いています。



◆草の根応援団員のラオス紀行◆

11月に、ラオス視察に同行させていただきサラワン県を訪れました。写真で見たり、話に聞いていたことが、現実であることを実感！高床式の家、豚・牛・鶏・犬・・・、薪で調理、川で洗濯・魚獲り・・・、なんと逞しい生活力！一方で、舗装道路や電気の普及など、急速に開発が迫ってきているところも。変化に対応し安心安全に身を守っていくためには、判断力が必要。それにはまず教育が大切、改めて感じました。対面した時は緊張していた子供達も、交流が始まると次第に笑顔に！子供の笑顔が増えますように！より良い未来を！

(写真右：東京都下目黒小学校の交流作品を、ブオンナム校へ届けてきました。職場体験をした久崎くん(上)の英訳を、現地協力NGOのニヤイさんがラオス語に訳して紹介中！)

<AEFAボランティア 田宮雅子>



★クリスマス・チャリティーコンサート大盛況★

12月4日(水)横浜市のミュージックスペース・グレコにて、AEFA初のチャリティーコンサートを実施しました。AEFA会員の佐藤和幸さん、ボランティアの工藤さんが企画・調整。ソプラノ歌手ケイさんの素敵な歌声が会場に響き渡り、マスターのピアノとのコラボで、一足早いクリスマスをみんなで楽しみました♪

(収益の一部はアジアにおける教員養成のために使わせて頂きます)



(後列左より)参与:宍戸、山田、楠山、佐藤
(前列左より)事務局長:金子、理事長:谷川、専務理事:石塚

AEFAより新年のごあいさつ

昨年もAEFAの活動を様々な支えて頂き、有難うございました。2014年は、AEFA創立10周年。記念本も出版予定です。

理事長以下スタッフ一同、新鮮な気持ちを忘れずに、今年も頑張ります！引き続き、応援をよろしくお願いいたします。“会員の集い”や、報告・勉強会には、ぜひご参加ください。

皆様にとって良い年になりますように。



2014年、日本財団
ご支援の
「ベトナム100校」
が完成します！

認定NPO法人 アジア教育友好協会 AEFA (アエファ) Asian Education and Friendship Association
〒105-0014 東京都港区芝3-3-10 芝園オーシャンビル8F

TEL 03-6426-0720 FAX 03-6426-0721 Email: asia@nippon-aeфа.org URL: http://www.nippon-aeфа.org